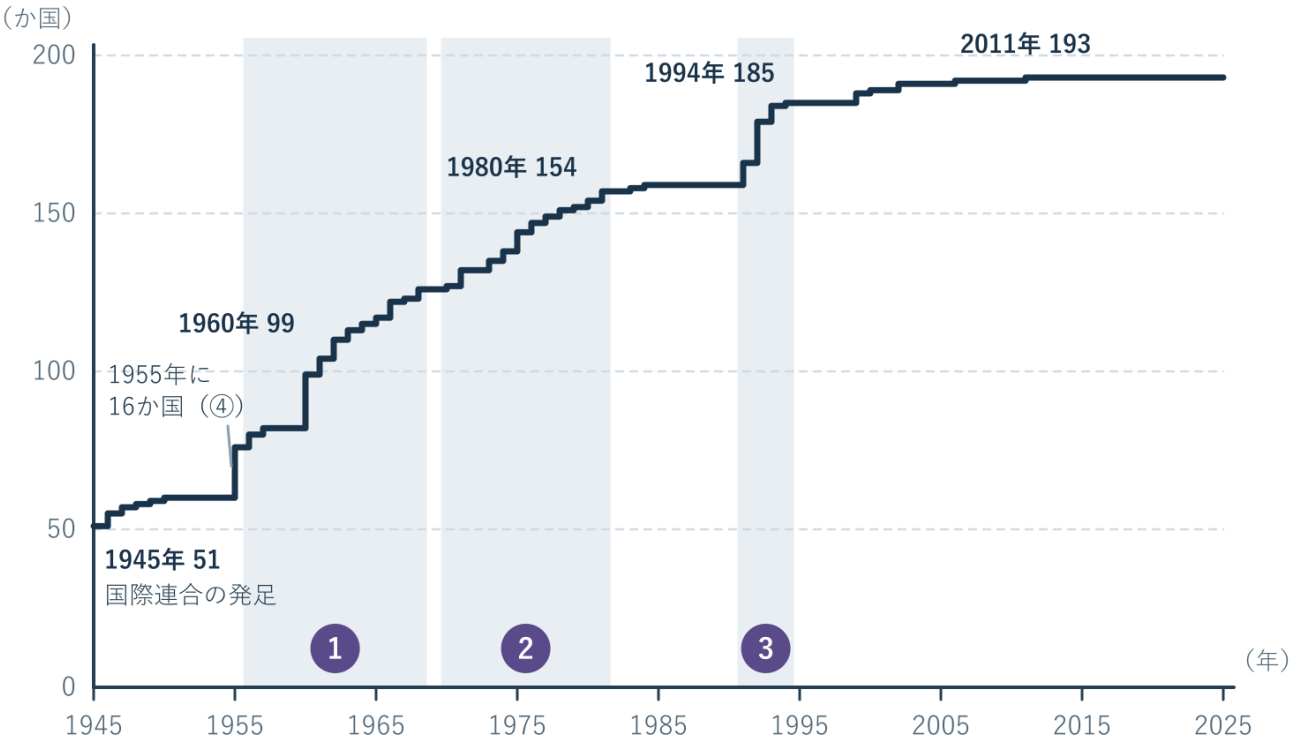
独立国の数の移り変わりを読む（国際連合の加盟国数から）

世界の国の数は、いつ・なぜ大きく増えたのか。加盟国数のグラフから読む

国際連合の加盟国数の移り変わり（1945年〜）

線が急に上がる時期①〜③を見つけ、右の札で背景を確かめる



資料：国際連合「Growth in United Nations membership」
（加盟があった年と、その年の加盟国数。2026年11月9日に確認）

① 1950年代後半〜1960年代

アジア・アフリカの植民地の多くが独立し、加盟する。1960年には17か国が加盟し、16か国がアフリカ

② 1970年代

アフリカや、太平洋・カリブ海の島々などで独立した国の加盟が続く

③ 1990年代前半

ソ連の解体や東ヨーロッパの変化で独立した国々が加盟する

④ 加盟国の数＝独立国の数ではない

加盟していない国や地域もある
前からあった国を含む多くの国がまとめて加盟した年もある（1955年）
国として成り立っていても、加盟が遅れた国もある（例：日本は1956年）

※ 線は各年の加盟国数（年の中の時期は示さない）。①〜③の範囲は読み取りの目安。